

村づくりカタログ

「村づくりカタログ」も、今回で9回目にになりました。第1回の「手作り看板」、第2回の「建物の前庭」以来、主に生活を快適にする、清里ならではの工夫を考えて来ました。大体は生活の内容を豊かにする道具について書いた事が多かったと思います。

今回も、生活を快適にする工夫ですが、いわゆる「もの」というより、生活のスタイルと言ったものについて、考えてみたいと思います。

清里でなければ、なかなか出来にくい、ちょっとした生活の工夫についてです。

今回のテーマは、「生活の中で森を楽しむ」です。



子供と一緒に、森へ行く

子供が学校から帰ってきて、それから暗くなるまでの間に、ちょっと時間を作って、子供と一緒に森や溪谷へ行きま。親と子が一緒に、イワツバメが帰って来た(3月)と気が付いたり、フキノトウが芽を出している(4月)のを発見したり、あるいは、ツグミ・カシラダカなどの冬鳥(11月)を見つけたら……そんな季節の変化を共通の体験として楽しめたら、すばらしいではありませんか。

森を親子で共に歩いて、子供が溪流の冷たさを驚き、親もどれどれと、一緒に秋を感じるなんてことも、仕事の合間に、ちょっと森へ行くことのできる、清里ならではの事です。

子供と歩く森のコースも、なん通りかが定まってくれば、森が生活の中に定着して来た、と言えるわけです。

森の中に好きな場所をもつ

コロラドの山の中に住む、ある家族のところに半月程滞在したことがあります。

清里に似た感じのところでした。屋敷は5エーカー程で、我々の感覚からすればとても広いのですが、囲りはスプリングスの森で、家族はむしろ、周りの森を庭のようにしていました。



第9回 生活の中で森を楽しむ

ある日森を歩いていると、その家族のお年寄が、コメツガに似た大木の足元で、背を丸めて折っているのを見ました。

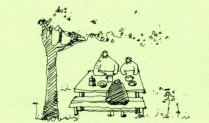
人が大切にしている場所に踏み込んでしまい、申し訳ない気がした程です。後日、奥さんが、「うちの家族は、各々が森の中に大切な場所を持っているんですよ」と話していました。

コメツガに似た大木のところの情景を思い出して、何故かとても羨ましく感じたのを憶えています。

森林浴などと言って、森を行列で歩くのに較べたら、森の中に好きな自分の場所を決めることが出来るなんて、なんと贅沢なことではないでしょうか。

動物の隣人である楽しみ

フィールドサインを知っていますか。動物が地面(フィールド)に残したしるし(サイン)のことです。足跡やフン、食べた跡などです。



雪やぬかるみの上の足跡。また、フンで動物の種類や食べた物がわかることも多いです。食べた跡も、食いちぎり方や植物の種類、食べた高さなどで、動物の種類がわかります。

清里の森には、リス、ウサギ、タヌキあるいはキツネやシカ等がいます。フィールドサインを知っていれば、実際の動物の姿が見えなくても、鳴き声が聞えなくても、動物の生活もなんとなくわかります。

ケモノ道の見わけがつくようになったら、フィールドサインを見つけ、森の中の自分の地図を作ってみてはどうですか。

きっと、キツネやシカが、隣人のような気がする楽しみを味わえると思います。

森で朝食をしてみませんか

少し早目起きて、森の中で朝食をとるのは、いかがですか。オニギリなどの(フランスパンと朝のワインもなかなかです)簡単な食事だって、十分生活のビタミンになります。

やはり、ちょっとしたテーブル位はあった方が便利です。忙しい季節が終わったあと、子供の学校が休みの日など、ちょっとがんばってみるとどうでしょうか。

こういうことは、なんとなく仲々実行しないのではないかと、と思います。しかし、是非一度試してみても下さい。実に気持ちがよいものです。

森を肌で感じる生活を

人の五感に入る情報のうち、60〜70%が眼を通して入るのだそうです。だから、季節なども景色で感じることが多いわけです。



足あとを探して……ノートをにつける
①キツネ、②ノウサギ、③リス、いすれも下から上に向かっていきます。(キープだより NO.6より)

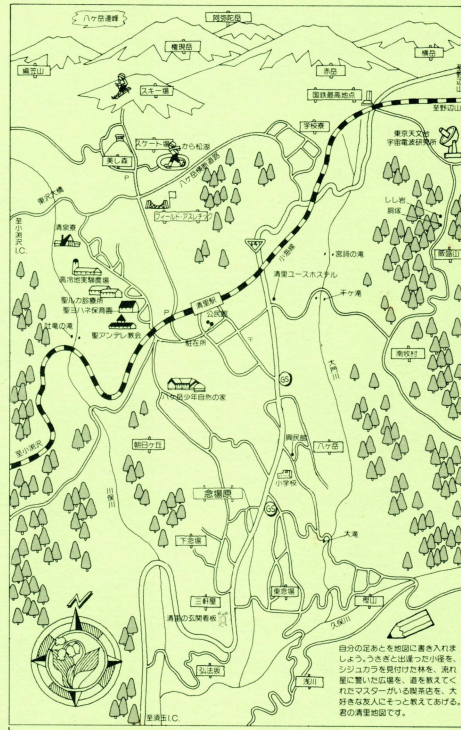
でも、もっと直接に肌で触れ、音や香りや味で、森の息吹きを生活の中に持ちこめないものでしょうか。

勿論すでに実行している方も多いでしょうが、折角の清里の生活です、もっと工夫して、森を楽しみたいものです。

●お詫び
清里新聞No.11村づくりカタログ第8回「香りのある村づくり」の1部に「広田親子著、山と溪谷社刊」より無断で引用し、参考しましたことをお詫びいたします。

文責：かいアソシエイツ 03-355-5710
気軽に電話を下さい。

KIYOSATO COUNTRY MAP



小泉駅(上り)	清里	(下り)	小泉駅
07:05→	06:40	06:41→	06:48
08:00→	07:35	08:11→	10:12
09:30→	09:04	10:12→	12:04
11:01→	10:35	12:12→	14:14
11:53→	11:21	14:10→	16:14
12:58→	12:02	15:34→	17:48
14:36→	14:10	17:12→	19:43
16:00→	15:34	17:52→	20:17
17:39→	17:10	19:30→	21:48
18:38→	18:13		
20:27→	20:01		
※10-4/26-5/6運転		(61.3.30改正)	

STAMP HERE



(連絡先) 千407-03山梨県北巨摩郡高根町清里3545
清里観光振興会広報部 奥水久 0551(48)2317
清里観光振興会青年部企画広報部 川嶋直 0551(48)2114
(Keep協会内)

清里新聞 1986 SPRING EARLY SUMMER

ニューフロンティアプレス〈クローバー〉

No.12



●●●清里・春・初夏のカレンダー●●●

- 5月7日——パイプオルガン演奏会(清里・聖アンデレ教会)
- 5月上旬——ショウジョウバカマの花咲く
牧草への肥料まき始まる
各牧場で、齊に牛の放牧が始まる
家畜用トウモロコシのまきつけ
- 5月中旬——オオルリ・キビタギが鳴き始める
ハナマメの種まき
- 5月下旬——6月中旬にかけて、牧草の刈入れ(一掃刈り)
- 6月9日——清里・春のクラシックコンサート(清泉寮・本館ホール)
- 6月上旬——スズランの花咲く
- 6月中旬——清里・つづじ祭り(美術展・バードウォッチングの集い・オリエンテーリング等のイベントを計画中です)
梅雨入り
- 6月下旬——エゾセミ鳴き出す
- 7月1日——丘の公園・ゴルフ場オープン
- 7月上旬——ホタルブクロの花咲く
- 7月中旬——牧草の刈入れ(二掃刈り)
梅雨明け
- 7月下旬——シモツケソウ・ノアザミの花咲く

発行 清里観光振興会広報部・青年部企画広報部

¥50



見る・聞く

双眼鏡を持って鳥を探しましょう。見つけれなくても、さえずりが聞こえたら、目をつぶってみましょう。あなただけの鳥が見えてきますよ。

双眼鏡での鳥の見つけ方
 バードウォッチングの基本の基本です。まず、目で鳥を見つけたなら、その鳥のいる近くで特長的なものを覚えておきます。そして双眼鏡をのぞいた時にその特長のあるものを最初に探し出します。こうすれば、鳥もその近くで簡単に見つけることができるでしょう。

鳥の見分け方
 双眼鏡で鳥を見つことができたなら、今度はその鳥の名前を調べなくてはなりません。この新聞にあげられている鳥は、比較的多くて、良く見られる

鳥です。歩いていけば、何回か同じ種類の鳥を見るチャンスがあるでしょう。その時持っていたのが図鑑。(手軽なものとしては、野外観察ハンドブック：山野の鳥、水辺の鳥：各500円、フィールドガイド日本の野鳥3200円：いずれも財団日本野鳥の会より)図鑑と比較しながら、じっくり観察しましょう。だいたい一度にたくさんの鳥を見ようとしなくてす。頭がこんがらがってしまいますよ。「今週は、アカハラを覚えよう」とかその週目標をたてるのもいいでしょう。とにかく自然のように、ゆったり構えて鳥とつき合ってください。

森のイメージ

「森」という言葉の響きから、あなたは何を連想しますか？考えるだけでも楽しいですね。

ポイント①…標高1500m以上の至高山から高山帯。

ルリビタキ、アマツバメ、キクイタダキ、沢ではコマドリ、又、ワシタカ類の帆しやうも、見られるでしょう。

ポイント②…キープの牧草地、およびその周辺

一面に牧草地が広がり、イワツバメ、ヒバリ、キジ、カコウ、ツグミ(冬)などが見えます。

ポイント③…川俣川東沢渓谷

ミソサザイ、オオルリ、コマドリなど美声を誇る鳥達が見れる他、かわいらしい花も見つことが出来ます。

ポイント④…小海線南側牧場周辺

赤松が多く、シジュウカラ、エナガ、ホオジロ、カワラヒワ、アカハラ、イカルなどが歩いているとよく出会います。「ゴルフ場の周辺がおもしろいかも。」とは地元の人。

ポイント⑤…大門川、宮詞の滝、千ヶ滝周辺

キセキレイ、ミソサザイ、カワガラス、そして魚を追うヤマセミの姿が見れるかも。

対話する(口笛)

口笛を練習しましょう。笛の間からもれる音と、口びるをうま 求愛給餌ーウソ(右:オス)く使うのがコツ。あなたの鳥語は通じるかな。

清里で見られる主な鳥たち

4月～8月(7月～8月はあまり見かけなくなりま)	9月～3月	一年中清里にいる
イワツバメ(4月から9月頃まで)	ツグミ	スズメ
ウグイス	シロハラ	キジバト
アカハラ	ジョウビタキ	ホオジロ
メジロ	カシラダカ	イカル
アオジ	アトリ	モズ
カコウ(6月から7月末まで)	ベニマシコ	アカガラ
ホトトギス(//)	シメ	キジ(春先よく見かける)
キセキレイ		カワガラス(冬はあまり見れない)
カワラヒワ		ミソサザイ(//)
ノビタキ(5月～7月 少数)		シジュウカラ
コマドリ		コガラ
オオルリ		ヒガラ

鳥のさえずり

鳥のさえずりを日本語にあてはめたものを「さきなし」といいます。さあ、いくつ当たるかな？(鳥の名とききさきはばらばらに並べてあります)

- | | |
|---------|----------------------------|
| ①フクロウ | ⑧一筆啓上つかまつりそうろう。源平つつじ、白つつじ。 |
| ②メジロ | ⑨お菊二十四。リベート欲しい。 |
| ③ホオジロ | ⑩焼酎一杯グイーツ。ちかれたビー。 |
| ④ホトトギス | ⑪ぼろ着て奉公。 |
| ⑤イカル | ⑫てっぺんかけたか。特許許可局。 |
| ⑥センドイムシ | ⑬長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛。 |

バードランド・清里

鳥を見に森へ入ろう……

